

入門・初級段階における外国語の 学び方

新入生の皆さん、高崎経済大学経済学部へのご入学、おめでとうございます。

本学では、英語だけでなく別の外国語の授業も受講するという方が多いと思います。私の担当は中国語ですが、しばしば学生から「中国語の勉強はどうすればいいですか」と質問されます。各人の動機や目的によって、その人に合った外国語の勉強法は少々異なってきますが、どのような人に対しても少なくとも次のことはお話します。「あなたの目や手だけでなく、口や耳もフルに使って勉強してください。」

言語においては音声も重要なファクターです。外国語の音を耳にして「日本語には無い発音だなあ」「不思議な発音だなあ」と戸惑うことはよくあること

だと思います。初級の外国語学習ではこのような違和感を疎かにせず、母語や既習の言語との違いをむしろ楽しんで学んでください。最近の多くの外国語教科書にはCDソフトが付いていますが、自習の際にはそれを何度も聞き、自分で発音してみましょう。文法や語彙を勉強するときも、単語や例文を発音しながら書きましょう。そして授業では、自分の発音をチェックしてもらうために、大きな声でゆっくりと発音してください。先生から直されても恥ずかしい

と思う必要は全くありません。習い始めたばかりなので。このようにして、「読む（読解）」「書く（作文）」という技能と同じくらい、或いはそれ以上に「聞く（聞き取り）」「話す（発音・会話）」という技能を伸ばすことで、効果的に外国語の運用能力を向上させることができます。

また、言語は文化と密接な関係があります。折角外国語を学んでいるのであれば、その言語が話されている地域の文化を学ぶこともお勧めします。本学には外国文化を学べる授業もたくさんあります。それらの授業ではこれからの国際社会で役立つ知識が得られ、その文化圏の言語に対する理解も深まりますので、ぜひ受講してみてください。



- 中国語a1・a2・b1・b2・c1・c2
- 中国現代文化入門
- 日中文化比較

大村 和人
(おおむら かずひと)

1976年生まれ。博士(文学)。専門領域は中国語圏の文学作品と文学思想ですが、より良い中国語教育法についても考え続けています。好物は麺類。日本の麺では「うどん派」でしたが、高崎に来てから蕎麦の魅力も少しずつ分かってきました。